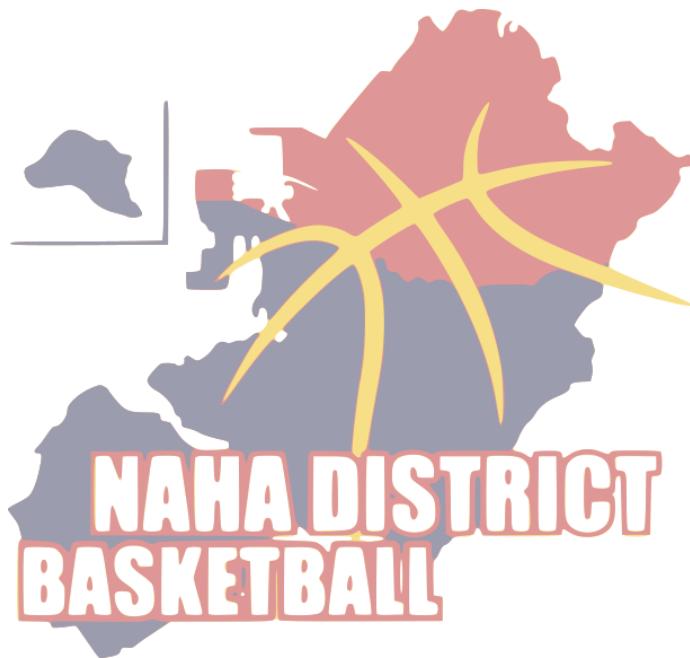


令和7年度 第24回 那覇地区フレッシュミニバスケットボール大会

監督会議及び抽選会 資料



☆ 式次第

1. 開会の挨拶
2. 全九州大会出場校紹介 & 挨拶（城北小女子ミニバスケットボール部/監督）
3. 各委員会からのお知らせ
4. 会場校抽選
5. オープン抽選
6. 閉会の挨拶
7. 会場校に分かれて諸注意

日時：令和8年1月10日（土）17:30～（受付17:00）

場所：浦添市民体育館 1階会議室

～R7 那覇地区フレッシュ大会（4年生以下）における各委員会よりお知らせ～

※大会公文に記載している内容の補足、追記となります。大会要項を熟読するようお願いいたします。

事務局

- 本大会も「クリーンバスケット、クリーン・ザ・ゲーム」の下、大会運営に関わる 全ての皆様にインテグリティの遵守をお願いします。
指導者、審判、MC、保護者、観客の皆様に**今一度、チーム内で周知お願いします。**



●頭部外傷に関する那覇地区ミニバスケットボール連盟の対応

今大会では頭部外傷が発生した場合、チェックシートを活用して、試合出場の可否を判断いたします。詳細は連盟 HP の「ダウンロード用書式集」→「脳震とうについて」内の「チェックリスト」と「フロー図」を参照ください。

<https://78miniren.com/docs/>

●4年生以下の選手の皆さんが多く参加しますが、靴紐やユニフォームの出し入れで、試合時間が延びる可能性があります。是非、大人の皆さまのサポートをいただき、スムーズな大会運営にご理解・ご協力の程、宜しくお願いします。

●1月以降は各チーム内で、保護者会の運営引継ぎの時期かと思われます。またフレッシュ大会はご家族以外にも、祖父母の皆様等も多く応援にいらっしゃる大変、微笑ましい大会でもあります。その為、通常大会よりも多く来場が予想される為、応援に来られる全ての皆様には、会場案内を熟読し、違法駐車や規定台数以上をする等、会場校の迷惑にならないよう、チーム内で周知願います。

●観戦・応援される皆様へ

直近の大会にて、ギャラリーからの落下物（タオルやうちわ等）が多発しております。ギャラリーで観戦なさる場合は、所持品等の物品の落下を起こさないように十分にご配慮をお願いします。

●協力のお願い（フリースロー時）

大会運営をよりスムーズに行うため、フリースローレーンへは速やかに入るようご協力お願いします。また、大会公文にも記載のとおり、フリースロー時は静かに見守るようご協力をお願いいたします。

総務

●申込書の提出が遅れるチームが散見され、その後も影響が出ますので遅れることがないようお願い申し上げます。

※申込書内に、帯同審判、帯同 MC のお名前も忘れずに入力ください

競技

- 3 ポイントルールを採用します。
- 各チーム TO (テーブルオフィシャル) の練習もよろしくお願ひします。※可能な限り、TO は上級生（5~6 年生）が担当をお願いします
※<https://78miniren.com/docs/> 競技・審判に関する書式→TO マニュアルハンドブック
- エントリー(申込)内容から変更の場合は、大会当日に変更したメンバー表と申込書と一緒に提出をお願いします。
- 試合間隔は通常 10 分、TO と試合が連続した場合、20 分となります。第 1 試合の試合前練習は 15 分です。
- シードについて（2027 年 8 月に開催予定の地区 5 年生以下への反映について）

広報・会場校

- 3 ポイントラインを引かれていないまたは 3P ラインを補修希望の会場校がありましたら、チーム個々でテープ購入する前にブロック長をまたは会場委員までお知らせください。連盟にてラインテープを配布いたします。
- TO テーブルの端から 1m 以上離した位置にベンチラインをラインテープで設置してください（2m が望ましい）。
※TO テーブルに必要な備品の準備をお願いします（黒/青・赤ペン 2 本、定規、バインダー）。
- 会場校担当後 連盟のタイマー、TO セットについて、中身と所在場所確認の為、速報グループラインに写真を送信して頂く事となりました。詳細は速報グループ LINE にてお知らせいたします。
- 男女のブロック優勝チームはチーム写真をホームページに掲載予定です。保護者の掲載確認を行ってください。

審判

- 帯同審判員が急遽大会に参加出来なくなってしまった場合は、ブロック長を通じて報告をお願いします。
→会場の審判責任者へ報告するため、事前連絡をお願いします
- ハーフタイムにて、10 名以上出場している事を両審判（クルーチーフ＆アンパイア）で確認お願いします。

コミッショナー

- コミッショナーへの確認は、自チームへの注意（黄旗）・警告（赤旗）の内容のみとする
- コミッショナーへ確認できるタイミングは、ハーフタイムまたは試合終了後とする。
→それ以外の時間での確認は原則認めない。
- ただし、注意（黄旗）の対象となった選手が何番か確認することは、これまで通りベンチからアクションがあった場合のみ、コミッショナーがハンドサインで伝達する。
- マンツーマン規則に関する確認はコミッショナーが対応する。審判員または TO 主任は対応しない。

【フレッシュ大会における特例規定】

- 今大会のみ、10 名でエントリーしたチームが、当日やむを得ず 9 名または 8 名となった場合でも、8 名以上の選手が出場可能であれば試合は成立するものとします。※9 名エントリーの場合も同様（9 名 → 8 名）
- 今大会のみ、申込人数は 15 名以上でも可とします。その場合、申込書を 2 枚提出してください。
- 今大会のみ、第 1 試合目と第 2 試合目での選手入れ替えを可とします。
※オーダー表の裏面に「第 1 試合目」「第 2 試合目」と明記してください。
- フリースローは、通常より 50cm 手前から行います。
- 各クォーターを 5 分とし、4Q 制とします。（5 分 - 1 分 - 5 分 - (5 分) - 5 分 - 1 分 - 5 分）
※延長の場合は、2 分インターバル後、3 分ゲームを決着がつくまで行います。

(その他)

ハーフタイム時のスコア確認について

ハーフタイム時には、両チーム・TO、審判でスコアシートの確認を行います。

TO及び両チームのスコアシートの下記①②の項目が一致しているか確認します。また、③2Qまでの出場者の確認を行います。

- ①両チームの選手別のファール数
- ②両チームの得点
- ③両チームの2Qまでの出場者

③の確認ポイント

- ・1Q、2Qと連続で出場した選手がいるか確認→連続出場した選手がいた場合、その選手は3Qには出場できません
 - ・2Qまでに10人以上の選手が出場しているか確認→9人以下の場合、3Qまでに10人以上の選手が試合に出場しなければなりません。
- ※8人～9人のエントリーの場合は、3Qまでにすべての選手が出場しなければなりません。

(詳しくはミニバスケットボール 競技規則4-2-1をご確認ください)

(例1) 玉城選手が2Q連続出場の場合

チームA:				
沖縄ミニ (白)				
No.	ライセンスNo.	選手氏名	No.	出場時間
				① ② ③ ④
1	0 0 1	比嘉	4	
2	0 0 2	金城	5	
3	0 0 3	大城	6	
4	0 0 4	宮城	7	
5	0 0 5	新垣	8	
6	0 0 6	玉城	9	
7	0 0 7	上原	10	
8	0 0 8	島袋	11	
9	0 0 9	平良	12	
10	0 1 0	山城	13	
11	0 1 1	知念	14	
12	0 1 2	宮里	15	
13	0 1 3	仲宗根	16	
14	0 1 4	下地	17	
15	0 1 5	照屋	18	

2Qまでに
15人中9人出場

・2Q連続出場あり

→玉城選手は3Qは出場不可

・2Qまで出場しているのが9名

→3Qには1Q、2Qに出ていない選手を1名以上出場させる

(例2) 2Qに選手が負傷し、知念選手を代わりに出場させた場合

チームA:				
沖縄ミニ (白)				
No.	ライセンスNo.	選手氏名	No.	出場時間
				① ② ③ ④
1	0 0 1	比嘉	4	
2	0 0 2	金城	5	
3	0 0 3	大城	6	
4	0 0 4	宮城	7	
5	0 0 5	新垣	8	
6	0 0 6	玉城	9	
7	0 0 7	上原	10	
8	0 0 8	島袋	11	
9	0 0 9	平良	12	
10	0 1 0	山城	13	
11	0 1 1	知念	14	
12	0 1 2	宮里	15	
13	0 1 3	仲宗根	16	
14	0 1 4	下地	17	
15	0 1 5	照屋	18	

2Qまでに
15人中10人出場

・2Q連続出場あり

→知念選手は3Qは出場不可

・2Qまで出場しているのが10名

→2Q連続出場の知念選手以外であればどの選手が出場OK

(例3) 2Qに選手が負傷し、島袋選手を代わりに出場させた場合

チームA:				
沖縄ミニ (白)				
No.	ライセンスNo.	選手氏名	No.	出場時間
				① ② ③ ④
1	0 0 1	比嘉	4	
2	0 0 2	金城	5	
3	0 0 3	大城	6	
4	0 0 4	宮城	7	
5	0 0 5	新垣	8	
6	0 0 6	玉城	9	
7	0 0 7	上原	10	
8	0 0 8	島袋	11	
9	0 0 9	平良	12	
10	0 1 0	山城	13	
11	0 1 1	知念	14	
12	0 1 2	宮里	15	
13	0 1 3	仲宗根	16	
14	0 1 4	下地	17	
15	0 1 5	照屋	18	

2Qまでに
15人中11人出場

・2Q連続出場なし

→2Qは誰が出場してもOK

・2Qまで出場しているのが11名

→3Qは誰が出場してもOK

(途中交代/途中出場した場合でも試合に出たことになる)

(例4) 選手が9名かつ、途中交代があった場合

チームA:				
沖縄ミニ (白)				
No.	ライセンスNo.	選手氏名	No.	出場時間
				① ② ③ ④
1	0 0 1	比嘉	4	
2	0 0 2	金城	5	
3	0 0 3	大城	6	
4	0 0 4	宮城	7	
5	0 0 5	新垣	8	
6	0 0 6	玉城	9	
7	0 0 7	上原	10	
8	0 0 8	島袋	11	
9	0 0 9	平良	12	
10			13	
11			14	
12			15	
13			16	
14			17	
15				

2Qまでに
9人中8人出場

・2Q連続出場あり

→大城選手、玉城選手、島袋選手は3Qは出場不可

・2Qまで出場しているのが8名

→9名でのエントリーで、8名しか出場していないので、3Qには必ず平良選手を出場させる。

★プレーヤーが競技中に身につけられないものについて(詳細)
※このページに掲載のものが全てではありません。

- ユニフォームのシャツからはみ出すシャツ状のもの



- 無色透明以外のマウスピース（メーカー名・番号・名前が入っているものも着用不可）



- 点滅するライト、反射素材やその他装飾物が付いたシューズ



- ヘルメット



・スカーフスタイルのヘッドバンド（ハチマキ含む）



- 商業的、宣伝的、チャリティー目的の名前やマーク、ロゴやその他特定できるもの



- ヘアアクセサリーや貴金属類



- 柔らかいパッドで覆われていても、指、手、手首、肘や前腕の防具



- 固定具や支持具で、皮革、プラスティック、合成樹脂、金属、その他硬い素材でつくられているも

- 他のプレーヤーに切り傷やすり傷を与えるようなもの（爪は短く切っておくこと）

★プレーヤーが競技中に身につけられるもの

チームで色を揃える必要があるもの①

- 腕のコンプレッションウェア
- 脚のコンプレッションウェア
- ヘッドギア
- リストバンド（※1）
- ヘッドバンド（※1）
- センター類
- ヘアバンド
- 手甲
- テビング（※2）

チームで色を揃える必要がないもの

- 十分にパッドで覆われている
肩、上腕、大腿部や下腿部の防具
- 膝の装具（※3）
- 足首の装具（※3）
- 眼鏡
- 負傷した鼻のプロテクター

チームで色を揃える必要があるもの②

- ソックス

※チームで色を揃える必要があるもの①と
②（ソックス）の色を揃える必要はありません。

令和7年度 第24回 那覇地区ミニバスケットボールフレッシュ大会

男子参加校												
首里		7	城北	城西	城南	城東	松島	石嶺	真嘉比			
那覇東		7	識名	古蔵	仲井真	真地	大道	上間	真和志			
那覇西		5	泊	那覇	城岳	銘苅	壺屋					
小禄		5	宇栄原	高良	金城	小禄南	さつき					
浦添		9	当山	前田	牧港	港川	宮城	内間	仲西	浦城	沢嶽	
久米島		0										
合計		33										

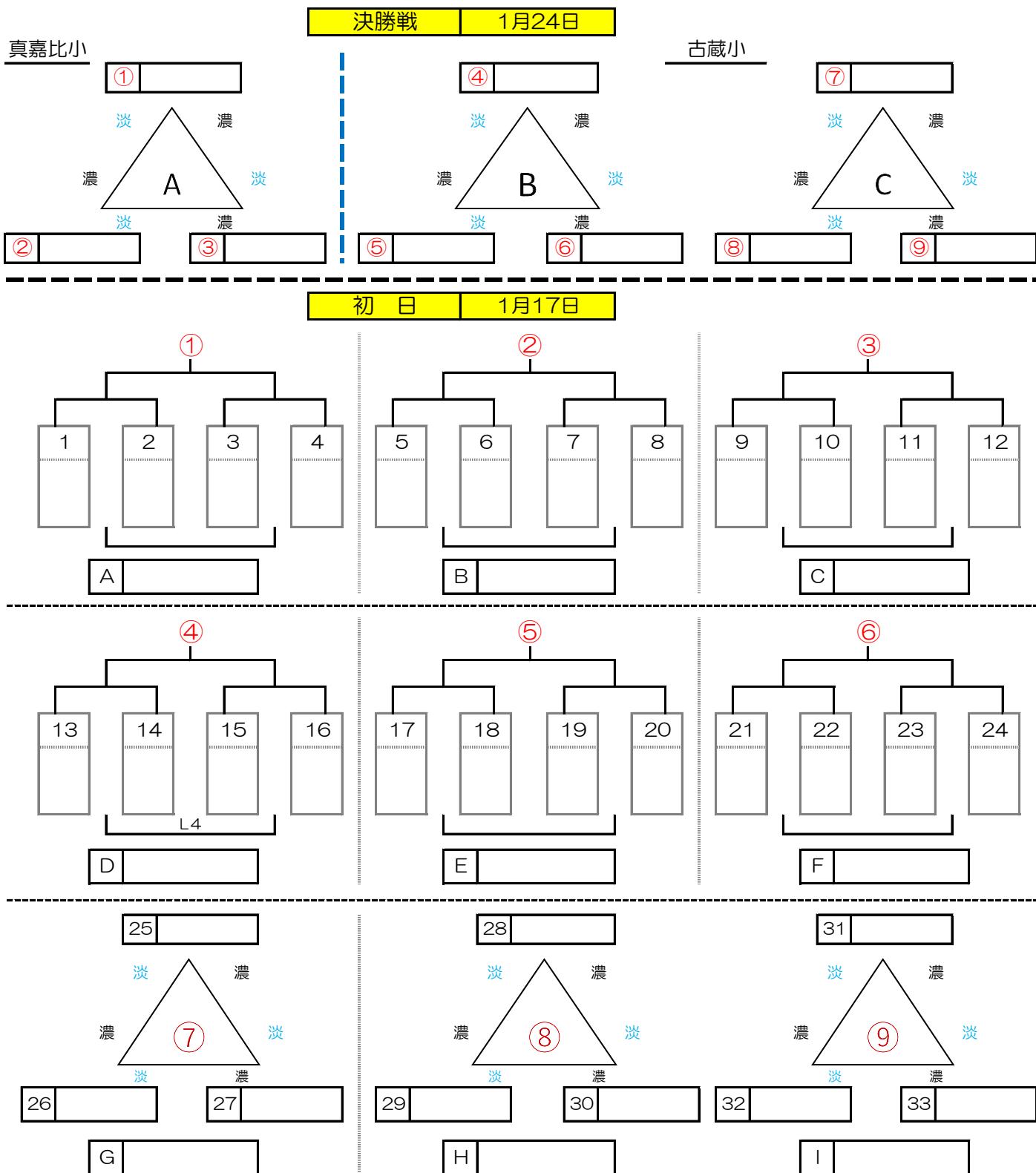
女子参加校												
首里		6	城北	城西	城東	松島	石嶺	真嘉比				
那覇東		5	識名	古蔵	上間	仲井真	真地					
那覇西		7	安謝	泊	那覇	城岳	銘苅	天妃	曙			
小禄		5	宇栄原	高良	金城	小禄南	さつき					
浦添		10	当山	牧港	港川	宮城	内間	仲西	神森	浦城	沢嶽	浦添
久米島		0										
合計		33										

■シード校(なし)

令和7年度 第25回 那覇地区フレッシュミニバスケットボール大会 男子

日 時	
1日目：	令和8年1月17日（土）
2日目：	令和8年1月24日（土）
・第1試合のアップ時間は15分 ・TOと試合が続く場合は試合間は20分	
試合時間 5-1-5-5-5-1-5 (10)	

会場校				
最終日	A・B	真嘉比小	C・D	古蔵小
初 日				
E・F	城岳小	G・H	上間小	I・J
K・L	泊小	M・N	城西小	O・P
Q・R	小禄南小	A・B	真嘉比小PM開催	



令和7年度 第25回

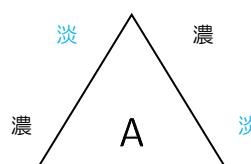
日 時	
1日目：	令和8年1月17日（土）
2日目：	令和8年1月24日（土）
・第1試合のアップ時間は15分 ・TOと試合が続く場合は試合間は20分	
試合時間 5-1-5-5-5-1-5 (10)	

那霸地区フレッシュミニバスケットボール大会 女子

会場校				
最終日	A・B	真嘉比小	C・D	古蔵小
初 日				
E・F	城岳小	G・H	上間小	I・J
K・L	泊小	M・N	城西小	O・P
Q・R	小禄南小	A・B	真嘉比小PM開催	

決勝戦 1月24日

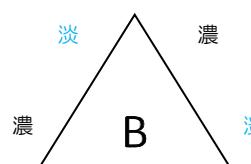
古蔵小 ①



②

③

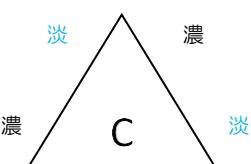
真嘉比小 ④



⑤

⑥

古蔵小 ⑦

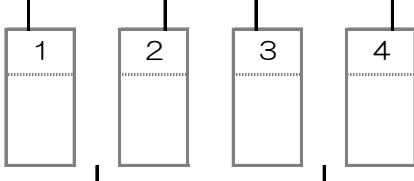


⑧

⑨

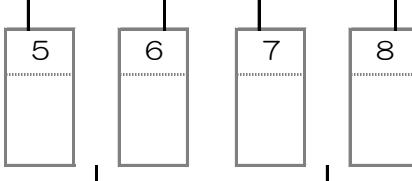
初 日 1月17日

①



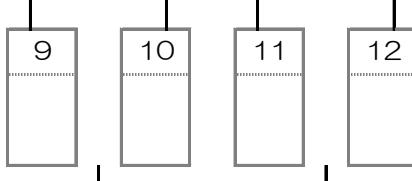
A

②



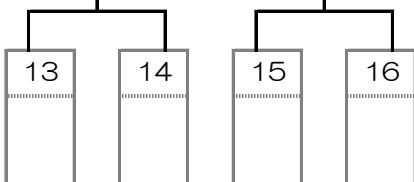
B

③



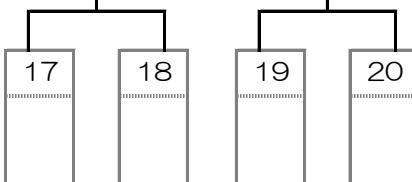
C

④



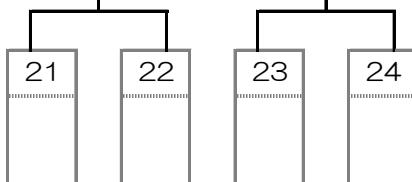
D

⑤



E

⑥



F

25



26

27

28



29

30

31



32

33

G

H

I



U12カテゴリー
指導ガイドライン



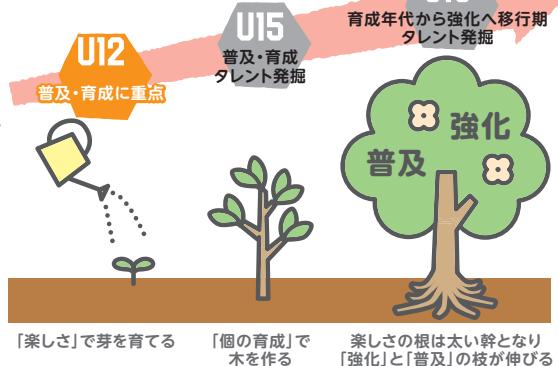
詳しくはこちへ!!
<http://u12.japanbasketball.jp/U12Guidelines>

楽ししながら競技力を向上させる バスケットボールが 楽しい!



育成マインドの伝達

U12世代では、子どもたちが「心からバスケットボールが楽しい」と実感させることが重要です。スポーツは勝つことから「楽しさ」「達成感」などを学び成長も見られますが、「子ども」の意思や思考が含まれない「勝ち方」を指導する勝利至上主義では、子どもたちに本当の意味でのバスケットボールの楽しさを伝えることができません。この年代では、子どもたちの将来を見据えた指導が求められます。そのため、コーチは「個の育成の重視」すなわち「育成マインド」を持ち指導に携わることが不可欠とされます。



育成世代で大切な考え方!

育成世代の目的

- ①子どもたちとそれに関わる全ての人がバスケットボールを通じて元気になる。
- ②子どもたちがバスケットボールを楽しめ、そして成長できる環境をつくる。
- ③バスケットボールを通じて、子どもたちの発育発達に応じた人格形成に寄与する。

プレーヤー主体で考えてみよう

「楽しさ」を大切にしよう

育成世代の基本方針

(関わる全ての大人たちが行うこと)

- ①安心安全なバスケットボール環境を実現すること。
- ②バスケットボールを子どもたちがのびのびと取り組める環境をつくること。
- ③子どもたちが試行錯誤しながら、様々な楽しみを知ることができるようサポートすること。

バスケットボールを通じて、 ライフスキルを学ぼう

育成世代の目標

- ①大人たちは、健全なバスケットボール環境の在り方について、継続的に話し合う機会を設け、安心安全な暴言暴力のないバスケットボール環境の実現を目指します。
- ②子どもに関わる全ての大人は育成マインドを大切にし、行動します。
- ③子どもたちのニーズ(競技志向・レクリエーション志向や発達段階など)に合致し、楽しめるプレー環境(リーグ戦方式、プレータイム確保、3×3の活用)を構築します。

「勝利」の捉え方を考えよう

プレーヤーのための 5 つの心得

チャレンジ精神を
忘れずに、いつも
全力を尽くそう

ルールや判定に
したがおう

試合や関係する
すべての人に
感謝しよう

よいマナーを
心がけよう

学習活動も
一生懸命やろう

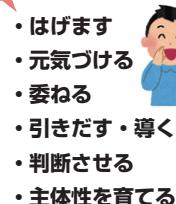
調和的情熱(ハーモニアス・パッション)で子どもたちと接しよう

アスリート・セナタード・コーチングとは、アスリートを中心に置いたコーチングであり、コーチは情熱を持って子どもと接することが求められます。ただし、コーチ自身の名声などを得るための執着的情熱(オブセッシブ・パッション)では、プレーヤーの存在を無視した一方的なコーチングにつながります。

アスリート・セナタード・コーチングに求められる情熱は、プレーヤーとコーチがお互いにしっかりとコミュニケーションを取り、尊重、信頼し合うことです。さらなる向上を目指して、共に努力する調和的情熱(ハーモニアス・パッション)で、子どもたちと接することが重要です。

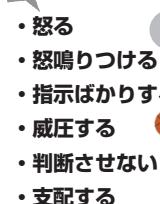
GOOD! やってほしいこと

- ・はげます
- ・元気づける
- ・委ねる
- ・引きだす・導く
- ・判断させる
- ・主体性を育てる



BAD! やってほしくないこと

- ・怒る
- ・怒鳴りつける
- ・指示ばかりする
- ・威圧する
- ・判断させない
- ・支配する



U12カテゴリー 「指導行動の指針」

JBA U12カテゴリー部会

U12カテゴリーから「暴言・暴力」を根絶し、子どもたちが「楽しく」プレーできる環境をつくるため、指導者の皆さんには「指導行動の指針」として、つぎのことを意識して、指導に当たっていただきたいと思います。

<やってほしいこと>

- ・はげます
- ・元気づける
- ・委ねる
- ・引きだす・導く
- ・判断させる
- ・主体性を育てる



<やってほしくないこと>



- ・怒る
- ・怒鳴りつける
- ・指示ばかりする
- ・威圧する
- ・判断させない
- ・支配する

みなさんの指導はどうですか？